

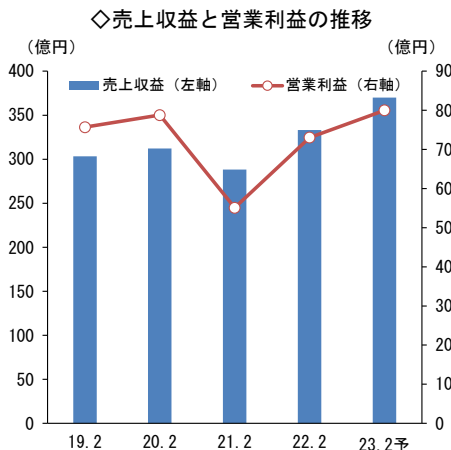
企業ニュース コメダホールディングス

(東証プライム : 3543) <http://www.komeda-holdings.co.jp/> 作成者: 高見澤晶子

名古屋発祥の喫茶チェーン

「珈琲所 コメダ珈琲店」を運営する喫茶店チェーン。F C (フランチャイズ) 店を中心に、海外を含めて956店(22.2期末時点)を展開している。F C店向けのコーヒーやパンといった食材、店舗備品などの卸売収入が売上収益の大半を占める。「くつろぎの場」の提供を特長としており、座席の広さなど開放感のある店舗設計、顧客ニーズを捉えたメニューやサービスが支持されている。

2021~2025年度の中期経営計画では、出店拡大やデジタル化の推進による既存事業の成長、新規事業の開発や育成などに取り組む。2022年7月に新モバイルアプリをリリース予定。店舗の混雑状況確認などにより顧客利便性を向上させ、店舗利用頻度の増加を図る。



(出所) コメダホールディングス資料よりCAM作成

23.2期も2桁増収増益の計画

22.2期の連結業績は、売上収益が333億円、前期比16%増、営業利益が73億円、同33%増。会社計画を達成した。F C店向け卸売収入(既存店ベース)は前期比11%増と好調に推移。また、店舗開発では同42店増と、期初計画の同26~36店増を上回った。利益面では第4四半期(12~2月)にデジタル化関連の費用を前倒しで計上した模様だが、増収効果で吸収した。なお、コロナ禍における時短協力金を営業利益に計上したが、直営店分の3億円と業績への影響は限定的な印象。

23.2期の通期会社計画は、売上収益が370億円、前期比11%増、営業利益が80億円、同10%増。売上収益、営業利益ともに過去最高更新を目指す。F C店向け卸売収入(既存店ベース)は前期比5%増、店舗開発は同34~54店増とし、期末時点で990~1,010店を見込む。原材料高への対応として、4月1日に国内コメダ珈琲店の直営店で値上げを実施、4月28日からは国内F C店約800店でも順次値上げを行う。当社は「くつろぎの場」を提供することで競合との差異化を図っているため単純な価格競争には巻き込まれにくく、相対的に値上げが受け入れられやすいとみられる。

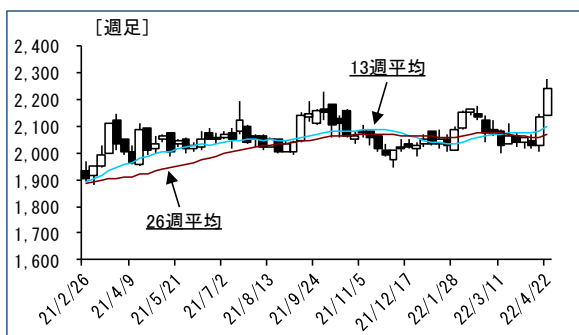
[株価動向・投資判断]

出店拡大と高い集客力による中長期的な業績拡大に期待。短期的には、価格転嫁により利益率を維持できるかに注目。

<3543 コメダ 業績:IFRS>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
21.2	28,836 (▲ 8)	5,511 (▲ 30)	5,391 (▲ 31)	3,590 (▲ 33)	77.9	39.00
22.2	33,317 (16)	7,305 (33)	7,179 (33)	4,934 (37)	107.0	51.00
23.2 予	37,000 (11)	8,000 (10)	7,930 (10)	5,360 (9)	116.2	52.00



[主要株価指標]	(売買単位: 100株)
株価(2022/4/22)	2,243 円
年初来高値(高値日)	2,277 円(22/4/22)
同 安値(安値日)	2,001 円(22/3/8)
予想P E R(23.2予)	19.3 倍
1株株主資本(PBR算出用)	814.0 円
P B R	2.76 倍
予想配当利回り	2.32 %
(1株当たり配当金52.00円)	
R O E(22.2)	13.6 %
発行済み株式数	4,616 万株